

プロジェクト調査計画論 (2単位)

担当者氏名 泉田洋一・鈴木充夫・新部昭夫・土田志郎・畑中勝守・平尾正之・稲泉博己

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオビジネスの専門家として地域農業開発、農村再編、さらには農商工連携などの推進業務に従事する場合、全ての業務は他の専門分野を含めたプロジェクト方式で推進される場合が多い。社会科学系研究者は、こうしたプロジェクトの推進場面では、リーダーとなるケースが多い。そのため、プロジェクト調査計画論では、プロジェクトリーダーとして有用な理論、技術の習得を目指す。具体的には、①土地を中心とした地域資源の評価調査と利用計画の策定、②地域情報の収集・解析、③地域農業の構造把握と計画作成、④多様な農業経営の調査と計画、⑤農業技術の評価と技術普及方法、に関する理論と手法の修得を目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>バイオビジネス</u>	<u>地域農業</u>	<u>プロジェクト調査計画</u>	<u>資源利用</u>
<u>地域農業計画</u>	<u>農業経営調査・計画</u>	<u>農業技術の評価</u>	<u>農業技術の普及</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	地域資源の評価と計画	・地域農業に関わる様々な情報の収集と解析手法ならびに地域農業情報システムの構築手法を修得する (鈴木、新部、畑中各教授担当)。	本授業のねらいは、地域開発や地域農業再編に関わるプロジェクト調査の理論・方法、そして計画策定のための手法を学ぶことにある。この科目では、大学院生の研究課題に即して指導を行うので、自らが実証を試みる理論・手法について、その考え方を整理して発表できるように予習・復習しておく。準備学習の内容や分量は、受講者の状況に応じて変更するため、詳細は授業中に判断して決定する。
2	(第1～2週)		
3	地域情報の収集と解析	・地域農業構造を把握するための調査理論ならびに地域農業計画のための手法を学ぶ(平尾教授担当)。	
4	(第3～8週)		
5	地域農業の構造の評価	・多様な農業経営の調査理論と、経営計画策定手法を修得する(土田教授担当)。	
6	と計画		
7	(第9～12週)	・地域農業および農業経営の革新をもたらす技術の評価と普及方法について修得する(泉田、稲泉各教授担当)。	
8	農業経営の調査と経営		
9	計画		
10	(第13～14週)		
11	農業技術の評価と技術		
12	普及の方法(第15週)		
13			
14			
15			

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

特定の教材は使用せず、必要に応じて資料を配付する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

社会調査に関する著書、資料を読んでおくこと。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業への積極的な参加度とレポートで総合的に評価する。

◆オフィスアワー

毎週決められた曜日の夕方、研究室にて質問を受け付けるが、曜日は各教員より指示される。

◆その他受講上の注意事項

教わるという意識ではなく、自ら調査・計画理論・方法を創造するという態度で準備学習を行う。